



# 地域新聞

千葉NT版

2009年3月20日号

Vol.573

【発行】株式会社地域新聞社 成田支社  
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜3-15-2  
TEL.0476-20-5775 / FAX.0476-20-5773

毎週木・金曜日配布 購読料無料  
手配り

<http://www.chiikinews.co.jp>

3/20

今日は何の日?



## ■春分の日

二十四節気のひとつ。この日は、太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さが同じになる日とされるが、実際は昼の方が長い。また国民の祝日としての「春分の日」は、自然をたたえ、生物を慈しむ日と制定された。日付は閣議で毎年決定される。祝日法が制定される前の1947年までは、「春季皇霊祭」という祭日だった。

常に最新の情報に精通するように

## 印西ITボランティア(愛称Wクリック)

印西ITボランティアは、市主催のIT講習会のサポートをしたり、視覚障がい者や精神に障がいを持った人たちへのパソコン訪問指導などを行っているボランティアグループだ。ITとはインフォメーション・テクノロジーの略称で「情報通信技術」のこと。



各人の進み具合には波があるので、スタッフは目を配り、付きっきりになることもある。自己紹介では、「家族に教えてもらおうと喧嘩になってしまう」との声も聞かれたという。

印西市では年七回講習会を開催しているが、それは別に同会主催の講習会も二回開かれ、十一月は年賀状作りが恒例だ。

例会は、毎月第一水曜日に中央駅前公民館で行われている。会員同士の情報交換や親睦活動を楽しみながら「IT関連は日進月歩ですから、スキルアップのための勉強会を続けています」と齊藤さん。

(江梨)

※問い合わせ



代表の齊藤彰さんは「印西市ITボランティア養成講座が平成十四年、十五年に開かれ、修了した受講生が結成したものです」と話します。現在十五人が登録。男女は半々という。「パソコンに触れてみたいとか、パソコンを始めてみたいといった人を対象に開かれる講座を通して、一人でも多くの市民が、パソコンIT社



会への第一歩が踏み出せたら」との願いがある。二月十七日から四日間開かれた身体障がい者向けの講習会には、四人が受講していた。講師が講習を進めていく中で、戸惑っている受講生には優しく声をかけてサポートする齊藤さん。「マウスには人差し指と中指をのせて、抱えるようにして」とか「ここに矢印の



講習の様子

先を持ってきて」など、的確にアドバイスしていた。講座で使われる「パソコン入門コース」のテキストは手作り。「ローマ字・かな対応表」をつけたマウスパッドは重宝がられている。今年度の活動としては、市主催の公民館ごとの講習会はもちろんのこと、ドイツの市民音楽団来日記念のホームページを作成して滞在記録を載せたり、印西ボランティア祭のポスター作品を会員に募ったり、初参加したボランティア祭では、パソコンよろず相談コーナーを担当し、喜ばれた。講習会は初心者向けがほとんど。受講生は高齢者が多く、八十歳代の女性も



参加者のみなさん